



一湊の風

学校便り No. 6

令和4年9月9日(金) 発行
屋久島町立一湊小学校
TEL:44-2130 FAX:49-5211
熊毛郡屋久島町一湊488-1

校訓「明るく 元気で がんばる子ども」

ホームページ <http://www.satsuma.ne.jp/issoushou/>

コロナ禍の2学期スタート

校長 船迫 光一

標題の「コロナ禍の2学期スタート」は、昨年度と同じものです。まさか今年も同じ標題となるとは残念でたまりません。一湊小学校では、9月1日に始業式を通常通りに（今年は、校歌を歌いました。）実施することができました。現在は、秋季大運動会へ向けて練習に励んでいます。子どもたちの成長のためにも、感染症への更なる予防対策を行いながら、できるだけ学びを止めないように教育活動を行ってまいります。今回は、始業式に話をしたことをご紹介します。

今日は、「習慣」についてお話します。習慣には、「よい習慣」と「悪い習慣」があります。たとえば、早寝・早起きをしたり、朝ごはんをちゃんと食べたりするのは、よい習慣が身についている人です。逆に朝寝坊や夜遅くまで起きていたり、朝ごはんを食べなかったりするのは、悪い習慣が身についている人です。

どうすればよい習慣を身につけることができるのかをお話します。

飛行機は、空港を飛び立つ時、燃料の3分の1を使ってしまいます。これはどういう事かということ、止まっている状態から飛んでいる状態に変化する時、とても大きなエネルギーを必要とするからです。

実は、わたしたち人間も飛び立つ飛行機と同じで、その時の状態を変化させる時、とても大きなエネルギーが必要になります。

これをあいさつの習慣にあてはめて考えると、いつも明るく笑顔であいさつをしている人は、よい習慣が身についているので、当たり前のように簡単に気持ちのよいあいさつができます。でも、たまにしかあいさつをしなかったり、小声でしかたなくあいさつをする人は、悪い習慣が身についているので、とても大きなエネルギーが必要となります。だから、「おはよう。」と声を掛けられても、すぐに返せなかったり、笑顔になれなかったりするので。

勉強だって同じです。いつも勉強をしている人は、歩いていたり、食事をしていたり、お風呂に入っている時も、頭の中で勉強をしています。だから、勉強することに全く抵抗がありません。宿題が出ても「えー。」と先生に文句など言いません。それに対して、たまにしか勉強をしない人や仕方なくする人は、椅子に座るだけで嫌な気持ちになる人もいます。「また勉強か。」と思う人もいます。宿題と聞いただけで面倒くさいなと思います。そして、宿題を始めるために大きなエネルギーが必要となります。皆さんは、そんな経験はありませんか。

つまり、心が嫌だなど思ってできた壁を乗り越えるためにエネルギーが必要となります。嫌だと思えば気持ちが強いほど壁は高くなるので、より大きなエネルギーを出さなければならなくなり、へトへトに疲れてしまう人もいますね。

その壁を低くして、無くしてしまう方法があります。その一番の方法は、「いつもやり続けること」です。やり続けることで、そのことに慣れてきます。慣れてくるとそのことが簡単になってきます。そして、簡単になるということは、よい習慣が身についたこととなります。

今日から2学期が始まりました。「早寝・早起き・朝ごはん」「勉強や読書」「みんなと仲良くする」といったよい習慣をみんなで身につけていきましょう。

秋季大運動会についてのお願い

9月25日(日)に予定しています秋季大運動会は、コロナウイルス感染対策のため競技だけでなく、開会式・閉会式も規模を縮小しての開催となります。開会式は、午前8時40分からの予定です。当日は、マスクの着用と各地区テントにて手指のアルコール消毒をお願いします。また、体調不良等の場合には、申し訳ございませんがご来場をお控えください。また、熱中症対策も各自でご準備ください。思い出に残る運動会となりますようご理解とご協力をお願いします。



